

「JICA 地球ひろばとモンゴル国大使館訪問」

3月27日（火）春休み大使館訪問「JICA 地球ひろばとモンゴル国大使館訪問」を行いました。

参加者25名で、市ヶ谷にある「JICA 地球ひろば」に行き、日本が行っている発展途上国への国際貢献・国際支援について学びました。



発展途上国のいろいろな問題点が、映像やパネルなどで展示されている体験ゾーンでは自分たちに何ができるかを考えることができました。

日本が行っている国際支援の一つ、青年海外協力隊の仕事（タンザニアでマサシという町の女子中学校で数学を教えてきた）を2年間してきた長澤健太さんのお話を聞きました。タンザニアでは教育を受ける環境が十分にできておらず、理科や算数の教師がいない学校もあり勉強するという意識が低いそうです。長澤さんが帰国して、教師がいなくなったとしても、生徒同士で学びあう事が出来るよう指導を行った結果、生徒どうしが学びあうという環境が生まれ、生徒の学力も上がって来たようです。

モンゴル大使館ではオトゴンバートル・Bさんが、壮大な草原と民族衣装や楽器などの映像を見て、話してくれました。日本人にはお相撲さんが活躍している国ですが、日本とモンゴルが国交を樹立して、昨年 40 周年を迎え、大変親日的な国だそうです。



大使館員のお嬢さんで、高校 2 年生のホルルさんが、日本はアニメなどで憧れの国だったので、日本に来て一生懸命日本語を勉強して、いまではお友達がたくさんいて楽しいと体験談を話してくれました。



オトゴンバートルさんとホルルさんの二人で、参加した子どもたちの名前をキリル文字で書いてくれました。モンゴルが身近になった 1 日でした。